

カヌーに親しもう

趣 旨 家族でカヌー体験を通して、海洋スポーツの楽しさを体験し、家族のふれあいを深める。

実施主体 新潟県少年自然の家

参加対象 小学校4年生から中学生を含む家族

参加者数 50名

回 数 1回 **日 数** 1日 **時 間** 4時間30分

場 所 胎内川河口（胎内市）

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
	7月30日(日) 9:30～15:00	家族でカヌーを楽しむ	自然の家指導課職員
1	内 容 ・ 方 法	○出会いのつどい、準備 ・ライフジャケットの着用の仕方を学ぶ ・カヌーを艇庫から所定の位置に運ぶ ○パドル操作の練習とカヌー乗船方法等 ・陸上でパドルの持ち方、前進・後退・停止の操作方法について学ぶ ・水中（腰のあたりまで入水）でパドルの操作を学ぶ。水の抵抗を体験する。 ・カヌーへの乗船、降り方、船に入り込んだ水の出し方を学ぶ。 ○カヌーに慣れる ・胎内大橋付近や上流の浅い所で、パドルの操作などについて慣れる。 ○カヌーを楽しむ ・チャレンジコース（海に出る）と、ゆったりコース（川を中心）に分かれて、カヌー漕艇を楽しむ。 ○人員確認、後かたづけ、着替え ・人員を確認、カヌーを艇庫に収納する。 ・アンケートを書く。 ○別れのつどい	

成 果

- この事業は、胎内川河口で一日たつぷりとカヌー等の海洋スポーツの楽しさを体験するとともに、家族の触れ合いを深めることをねらっている。午前中はカヌー漕艇の基礎的な技能を学んだり、体験したりする。午後は、それぞれの力量に応じてカヌー漕艇を楽しむよう活動を組んでいる。普段体験することの少ないカヌー漕艇は、初心者から経験者まで人気のある活動になっている。
- 参加者から、カヌー漕艇体験を通して、普段の生活とは違った視点から自然を見つめることができた。また、家族で触れ合い一時を過ごすことができ良かったという感想をたくさんいただいた。

課 題

- 川や海が活動場所となっているため、当日の天候・流れの速さ・水の濁り・波の高さなどによって、活動内容や範囲が制限されたり、安全に対する配慮がいつそう必要になったりする。そのため、状況判断を的確に行うとともに、指導者たちの指導体制をしっかりと整えておく必要がある。
- 猛暑の時期に実施するため、水分を十分補給させてり、休憩時間を十分に取ったりすることも大切である。

問合せ先 新潟県少年自然の家指導課(担当 五十嵐晃、土田亮)
TEL：0254-46-2224